



# デメテル Demeter

群馬県立自然史博物館だより No.77

Newsletter of the Gunma Museum of Natural History 2020.冬

デメテルはギリシャ神話に登場する大地の女神で、群馬県立自然史博物館のシンボルマークになっています。



## <企画展関連イベント>

3/22日

### 「企画展ギャラリートーク」

講師：企画展担当職員  
場所：企画展示室等  
時間：10:30～11:30  
14:00～15:00  
定員：各回20名（事前申込※）  
参加費：博物館の観覧券が必要となります。

3/29日

### 企画展講演会「巨大翼竜は飛べたのか」

講師：佐藤 克文さん（東京大学大気海洋研究所）  
場所：当館学習室  
時間：13:30～15:30  
定員：100名（事前申込※）  
参加費：無料

4/12日

### ワークショップ 「空飛ぶ翼竜キット「プテラノドン」づくり with 企画展ハイライト解説」

講師：企画展担当職員  
場所：当館実験室等  
時間：10:30～11:45  
定員：20名（事前申込※）  
参加費：490円（材料費）

4/29水・祝

### 企画展講演会

#### 「翼竜だって歩いていた！ ～足跡化石からさぐる翼竜や古生物の暮らし～」

講師：久保 泰さん（東京大学総合研究博物館）  
場所：当館学習室  
時間：13:30～15:30  
定員：100名（事前申込※）  
参加費：無料

5/6水・振

### ワークショップ

#### 「空飛ぶ翼竜キット「ディモルフォドン」づくり with 企画展ハイライト解説」

講師：企画展担当職員  
場所：当館実験室等  
時間：10:30～11:45  
定員：20名（事前申込※）  
参加費：490円（材料費）

さらに！  
3・4・5月のサイエンス・サタデーの  
メニューは「飛ぶ動物」特集！

※ 申込方法：企画展ギャラリートークとサイエンス・サタデーを除き、各イベントの1ヶ月前の午前9時30分から電話事前予約／詳細についてはイベントガイドや当館 Webpage でご確認ください。

## 企画展案内 第62回 企画展「空にいどんだ勇者たち」

「空への挑戦」。それは古生代オルドビス紀の上陸以降、いろいろな動物によって試みられてきた進化の一大イベントです。3月20日から始まる企画展「空にいどんだ勇者たち」では、恐竜時代の空の支配者・翼竜を中心に、古生代の昆虫、恐竜(=トリ)や哺乳類など過去に空にいどんだ動物界の多くの勇者、そして私たちヒトの空へのチャレンジを紹介します。

この写真の標本は東南アジアに今もくらしているトビトカゲの仲間。胸の背骨から横に長く発達した片側6本の肋骨が「翼」である皮膜を支え、滑空することを可能にしています。彼らも空にいどみ、そして成功した動物なのです。

(地学研究係 高栞 祐司)



## 自然のコラム 生き物たちの時間・夜明け

森に入り、生き物たちを調査する時、それぞれの生き物について、適した時間帯があります。その最も適した時間帯のひとつが、夜明けです。

ある日の現場の様子をみてみましょう。夜明け前、現場に到着。ここから1時間、鳥のさえずりを聞き取りながら、記録・録音を試



カメラを仕掛けた木についていたクマの爪痕

みます。夜が明け、朝露がコケ(蘚苔類)の上に降り、コケが美しく艶めきます。この瞬間が、コケの写真撮影のベストタイミングです。季節が良いと、蕨から孢子を飛ばす様子も観察できます。樹幹を見上げれば、大きな葉状の地衣類がいます。その上をナメクジが這いながら、地衣体をこそげるように食べています。地衣類も、朝露に濡れてしっとりとした状態が撮影・記録のベストタイミングです。朽木にはたくさんの昆虫がついていたり、ときには変形菌がいたりもします。

夜明けは、哺乳類の足跡も、獣道にくっきりと残っていることが多いです。獣道をたどり、動物の痕跡を探します。クマの爪痕、クマ棚、哺乳類の足跡や糞が新鮮な状態で比較的高確率で見つかります。夜明けは、生き物たちが艶めき美しい姿をみせてくれる一方、動物たちと遭遇することも多い時間帯でもあるため、山に入るときにはご注意ください。

(生物研究係 姉崎 智子)

# 研究の扉 ライトトラップによる昆虫採集

7月25日にみなかみ町藤原でライトトラップ(灯火採集)による昆虫採集を行いました。ライトトラップは明かりをつけて昆虫を集める方法です。発電機を用いた本格的な方法もありますが、簡便なやりかたで実施しました。昆虫はLEDの明かりには集まりません。そこで100個のLEDが付いた紫外線ブラックライトを用いました。これは数千円で入手可能です。背景となるスクリーンには前回の企画展告知バナーの裏側を使用しました。輪留めがついていて樹幹に簡単に取り付けられます。屋外に装着するバナーですから丈夫です。コストパフォーマンスが高いといえます。



採集は日没後から行いました。すでに蛾が集まっていた。今回は4人で行いましたが採集後の処理に追われたため特に中型、大型の蛾と甲虫を中心に捕らえました。なかでもオオミズアオが最大です。開帳10cmほどあります。標本箱内の左端がそうです。蛾がひらひらと飛んでくるのかと予想していたところバシッとスクリーンめがけてぶつかってきました。これは意外でした。採集結果は蛾がヒョウ



モンエダシャク、クヌギカレハなど19種類、甲虫はホソカミキリ、アオカミキリモドキなど34種類でした。昆虫の種類が増えず数も増えなくなった3時間後に採集を終えました。同じ採集を9月中旬に行いましたが成果は全くありませんでした。来年は6月から8月までの間に4回ほど採集する予定です。時期によって何が集まってくるのが楽しみです。

(生物研究係 高橋 克之)

『地域回想法』を生かしたプログラム

# 博物館で思い出を語るんべえ

～思い出を語れば、脳もイキイキ！～

当館では、『地域回想法』を生かしたプログラム「博物館で思い出を語るんべえ～思い出を語れば、脳もイキイキ～」を、昨年4月から実施しています。このプログラムは、地域の福祉・介護施設、公民館等と連携しながら開発したもので、認知症の予防に効果があると言われていた「地域回想法」をベースに、高齢者に視点をおいた特別対応の充実や世代間交流・地域活動における博物館資源の幅広い活用を目的に行っています。

当館の幼児から団塊の世代に対する既存のプログラムに、新たに高齢者向けのプログラムを組み入れることで、よりきめ細かな対応が可能になり、幅広い世代層に対して博物館の楽しみ方を提供することができます。

また、社会資源でもある博物館の活用と更なる普及活動の充実が期待されるとともに、博物館が世代間交流促進の場、地域のネットワーク作りの場として、地域社会に貢献することも期待しています。

## 地域回想法(ちいきかいそうほう)って何？

地域回想法は、認知症の療法として医療、介護の現場で実践されてきた回想法のノウハウを活用して、**地域に住む健康な高齢者の認知症予防や生きがいづくりに結びつける取組のことをいいます。**

\*回想法(かいそうほう、reminiscence/life review)とは、1960年代にアメリカの精神科医であるロバート・バトラー博士によって提唱された心理療法です。

## どんな効果があるの？

近年の脳研究によると、昔のことを思い出して、人と会話をすると、脳の血流量が増加して、脳に刺激が与えられることがわかってきました。過去の出来事を思い出して、周りの人と楽しく語り合うことは、**心の安らぎを得たり、日々の暮らしを生き生きとさせたりする効果が期待できます。**また、回想法プログラムを継続して行うことで認知症の予防や改善に効果があるとも言われています。

## 博物館でどんなことをするの？

当館の展示解説員と一緒に、自然史博物館ならではの展示標本を「見る」「触れる」などの体験を通して、昔の懐かしい出来事や思い出を参加者の皆さんと一緒に楽しく語り合います。



図1 雑木林のジオラマの前



図2 さわれるはく製標本の前



図3 学習室での様子



図4 公民館での出前講座の様子

## 案内コース(約20分)

いいあんべえコース	展示室で、展示標本を前にイスに座ってじっくりとプログラムを実施します。 (定員：5名程度)
いっぺえコース	学習室で、はく製などを使用しながらゆったりとプログラムを実施します。 (定員：10～30名程度)

### 申込方法

事前に電話で申込 ▶ TEL:0274-60-1200



(教育普及係 静野 聡)

## 利用案内

■開館時間 午前9:30～午後5:00(入館は午後4:30まで)

■休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)

■観覧料

	一般	高校・大学生
常設展のみ開催	510円 (410円)	300円 (240円)
第62回企画展開催時 (R2.3.20～6.7)	610円 (480円)	300円 (240円)

※中学生以下、身体障害者手帳・療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方及びその介助者1名は無料となります。

※( )内は、有料者20名以上の団体料金となります。

## 群馬県立自然史博物館だより Demeter No.77

編集・発行 群馬県立自然史博物館  
〒370-2345 群馬県富岡市上黒岩1674-1  
Tel.0274-60-1200 Fax.0274-60-1250  
ホームページ  
<http://www.gmnh.pref.gunma.jp/>



Demeterは、地球環境保全のため植物油インクを使用しています。